

小平記念 東京日立病院

所在地 東京都文京区湯島
用途 病院
竣工年度 1960年
改修年度 1990年
所有者 東京日立病院
設計者 (株)日立建設設計
施工者 日立プラント建設(株)
鹿島建設(株)



【審査評】 本物件は昭和35年に竣工した病院であり、30周年に当たる平成2年にリフォームされたものである。本病院は企業内だけでなく広く一般に開放されており、患者の大半が一般からの来院である。

改修の狙いは、劣化による機能低下の修復、イメージアップ、患者へのサービスの向上、病院のさらなる成長を目指したものであり、改修設計のコンセプトは室内環境の向上、防災防犯機能の向上、省エネルギー化、省力化、医療の高度化・効率化、法規への適用ならびに美観の改善であるとされている。建築年代と日進月歩する医療技術を勘案すればリフォームすべきは当然のことであり、病院としてそのみでは特別のこととはいえない。しかしながら本物件の場合には、上記の設計コンセプトに基づいてリフォームを行った結果、以下のように建築デザイン、建築設備機能、建築エネルギー性能ならびに建築環境性能の全般にわたってバランスの良い性能向上を実現させたことは特筆して良い。

1. 本病院はリフォームによって、もとのプランを生かしつつ良好な環境を保持し、最新の医療設備、情報システムを具備するに至っており、著しい医療活動の高度化・省力化が達成されているとみられる。
2. 内外装とも医療建築に相応しく清楚で機能的なものにリフォームされ、周囲環境とも調和しており、また、ブラインド内蔵の二重ガラスによる騒音防止と熱負荷の削減は、多くの点から建築の機能を向上させている。
3. 設備的にはエネルギー効率と環境性能の向上を果たし、また、脱フロンを目指した冷温水発生機の採用は地球環境保全の観点からも妥当であり、さらに、蓄熱槽容量の増量と相まってエネルギー有効利用と保守管理の観点からも改善されており、建物の質の向上と省エネルギー化を両立させたことは評価できる。
4. 病院機能の充実により内部発熱が増加し、冷房負荷が増大しているはずであるにも拘わらず、実績として一次エネルギー基準による省エネルギー化を達成しているのは高く評価できる。